学校番号	3010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	古典探究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校　精選古典探究(第一学習社)						
副教材等	要点プラス体系古典文法（数研出版）・読んで見て覚える重要古文単語３１５（桐原書店）・漢文句法・演習ドリル（旺文社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

古典を読む楽しさを味わい、作品を通じて、古来の人間、社会、自然などに対する思想や感情を捉え、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めて豊かにします。三年生は基礎的な知識を踏まえて、共通テストに向けた応用的な内容を学習していきます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、古典に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	・仏教説話に取り上げられた人物の論理と行動を読み解き、編者が語り伝えようとした価値について考察する。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］」 発心集	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:学習の見通しをもって説話を読み、登場人物の言動に対する自分の考えを積極的に伝え合おうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・主従のやりとりを通してどのような教訓を伝えようとしたのか、編者の意図を考えながら内容を読み味わう。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ［教材］ 十訓抄	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:主従のやりとりを通してどのような教訓を伝えようとしたのか、編者の意図を考えながら内容を読み味わう。 c:登場人物のやり取りを学習課題に沿って整理し、この話から読み取れる教訓について進んで伝え合おうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・古代における臣下の立場を理解するとともに、呉王に対する少孺子の説得の巧みさを読み取る。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ［教材］ 不顧後患	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 c:積極的に逸話を読み、臣下の立場にある少孺子の心情と、少孺子が呉王を説得するためにとった方法とを説明しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・展開や表現に即して袴垂の心理を追い、そこから浮かび上がる保昌の人物像を理解する。 ・説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・主として接続詞について文語のきまりへの理解を深め、文語で文を書く。 ［教材］ 宇治拾遺物語	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:説話という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:本文の叙述や表現に即して粘り強く説話を読み、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・日記的章段を読んで、作者と中宮定子との関係性を読み解くとともに、当時の宮廷生活に関する理解を深める。	a:我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

	・随筆という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ·我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ［教材］ 枕草子	b[読]:古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 c:本文の背景にある宮廷生活の 様子を積極的に理解し、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。			
	・構成に留意して作品を鑑賞し、詩に表れた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを読み取る。 ・漢詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・漢詩の特徴について理解を深める。 ・漢詩に表れる表現の特色について理解を深める。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ［教材］ 古体の詩	a:訓読のきまりについて理解を深める。 b[読]:詩特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:全体の構成に留意しつつ、詩にこめられた作者の思いや、詩に描かれた人物の思いを進んで読み取ろうとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
2	・長編物語としてのストーリーをたどりながら、『源氏物語』の話の展開のしかたや心理描写の巧みさを捉える。 ・長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・古典の文章を読み、その内容や形式などに関して、発表したり議論したりする。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ·我が国の文化の特質や、外国の文化との関係について理解を深める。 ・文語のきまりについて理解を深める。 ［教材］ 源氏物語	a:語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]:長編物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:学習課題に沿って描写や表現に着目し、粘り強く登場人物の心理について理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
	・前半の子罕の逸話と後半の論説とを読み、人にとっての宝とはどういうものかを捉える。 ・逸話という文章の種類をふまえて、構成や展開を的確に捉える。 ・書き手の考えや目的を捉えて内容を解釈し、構成や表現について評価する。 ［教材］ 不若人有其宝	a:訓読のきまりについて理解を深める。 b[読]:逸話を読み、自分のものの見方や考え方を深める姿勢を養う。 c:積極的に逸話を読み、臣下の立場にある少孺子の心情と、少孺子が呉王を説得するためにとった方法とを説明しようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度
3	・歴史物語の列伝に記載されたさまざまなエピソードを読んで、	a:古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。	定期考査	定期考査 提出物	提出物 授業態度

	歴史に残された人々の姿に触れる。 ・歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・古典の文や文章の構成・展開のしかたについて理解を深める。 ［教材］ 大鏡	b[読]:歴史物語という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:本文の叙述をふまえて、粘り強く書き手の考えや意図を捉えようとしている。		ワークシート	
	・医薬の効能に関する二人の会話を読み、欧陽脩があげた例と、それに対して蘇軾が返した例の意味を理解する。 ・随想という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 ・訓読のきまりについて理解を深める。 ［教材］ 医薬談笑	a:我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。 b[読]:随想という文章の種類や古典特有の表現に注意して、構成や展開、内容を的確に捉える。 c:蘇軾の発言の意図と、それを聞いた欧陽脩が「大笑」した理由を進んで考えようとしている。	定期考査	定期考査 提出物 ワークシート	提出物 授業態度

4　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　0　）時間

・書くこと　…　（　0　）時間

・読むこと　…　（　70　）時間